

令和7年5月16日

令和6年度 政務活動費あらまし

しながわ未来(無所属・立憲・ネット)

幹事長 大倉 たかひろ

しながわ未来は、無所属3名、立憲民主党2名、生活者ネットワーク1名の計6名で活動し、会派結成以来、2年目を迎えました。

令和6年度は、不安定な国際情勢が続く中、原油価格をはじめとするエネルギーコストや、お米をはじめとする食料品価格の高騰が区民生活に深刻な影響を与えてきました。

その中で、我々しながわ未来は、区民生活の安心や安全とウェルビーイングの実現や、町会・自治会はじめ、各種団体等から寄せられた問題・課題の解決に向けて、調査研究、研修、広報等を通じ区民ニーズの把握し、行政へ様々な政策提案をしてきました。

調査研究、研修では、前年度に続き、地域の問題・課題の聞き取りや 30 を超える各種団体からのヒアリングを実施し、会派内で協議して 188 項目に取り纏め、政策要望として区長へ提出し、また、議会質問に取り入れ活かしてきました。

その他、各議員研修会・講習会への参加、区有施設はじめ区外施設への視察、講師を招いての研修、オンラインを活用したヒアリングやオンラインと面接を併せたハイブリットでのヒアリングも積極的に行いました。

具体的には、品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」、品川児童相談所、インクルーシブひろばベル、大原児童センター、西大井創業支援センター、武蔵小山創業支援センター、五反田産業文化支援施設、品川産業支援交流施設(SHIP)、品川清掃工場、品川区資源化センターなどの区内施設の視察を行いました。また、東京都デジタルサービス局に伺っての東京都のデジタル地域通貨「(仮称)TOKYOTOKYO ポイント(現「東京アプリ」)」に関する勉強会、武蔵野プレイス、武蔵野市の子どもの権利擁護センター、長崎県原爆資料館、DMO NAGASAKI、長崎スタジアムシティ、長崎市役所の新庁舎、武雄図書館、佐賀県大町町の FOOBOUR など、品川区外における勉強会や視察も数多く行いました。

広報活動では、会派報告や区政報告を作成し配布を行うとともに SNS 等での会派情報発信を実施しました。また、会派のウェブサイトを作成し、会派活動等に関する情報発信のプラットフォームを整えました。

引き続き、会派メンバーがそれぞれ課題等に対し問題意識を持ち、区民の意見聴取を積極的に行い、施策の実現を目指し活動まいります。

以上、政務活動費のあらましとさせていただきます。